

ツマグロキチョウがミュージアムで繁殖！？

清 邦彦・横山謙二

ツマグロキチョウは、幼虫の食草であるカワラケツメイの減少とともに年々数を減らし、環境省では絶滅危惧種ⅠBに指定されています。しかし近年、帰化植物のアレチケツメイでも繁殖するようになってきたといわれています。ここふじのくに地球環境史ミュージアムでは、2020年8月18日にアレチケツメイが繁茂する中庭駐車場付近でオスとメスの個体が確認され、21日には交尾、29日にはアレチケツメイの葉軸で産卵が確認されました。その後も、10月初めまで複数の個体が確認されましたが、幼虫は見ることはできませんでした。このことで継続した発生はなかったと思われましたが、11月24日にミュージアムのグラウンド側で、成虫（秋型）を確認することができました。おそらく、ミュージアム周辺で繁殖しているのではないのでしょうか？



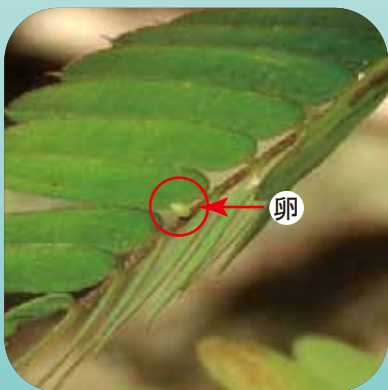
8月18日 夏型♂



8月18日 夏型♀



8月21日 交尾



8月29日 アレチケツメイの
葉軸に産まれた卵



9月3日 ケイトウの花に吸蜜



9月3日 夏型♂



9月11日 夏型♂と♀



10月5日 夏型♀



11月24日 秋型♀